

疾風のブラームス、音の大海への旅立ち



第24回 廿日市 定期演奏会

広島交響楽団

©武藤章

ピアノ/伊藤 恵

Piano: Kei Itoh

指揮/小泉和裕

Conductor: Kazuhiro Koizumi

© Ivan Maly

Program

ブラームス:

ピアノ協奏曲第1番ニ短調
作品15

Brahms: Piano Concerto No.1
in D minor Op.15

ブラームス:

交響曲第1番ハ短調 作品68

Brahms: Symphony No.1 in C minor Op.68

コンサートマスター: 佐久間 聡一

Concertmaster: Soichi Sakuma

■主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社
■共催/公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団

■助成/



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

■特別協賛/ 中国電力

■協賛/ウッドワン、シブヤ、デリカウイング、フマキラー、山崎本社
■後援/廿日市市、廿日市市教育委員会



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

2021年 **11月28日(日)** 15:00開演
(14:15開場)

※ **さくらびあ文化ホール ウッドワンさくらびあ大ホール**

■入場料 全席指定(税込)

S席3,800円/A席3,300円(A席学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。当日要学生証提示。
※学生席は割引なし。ウッドワンさくらびあ事務局と広響事務局のみ取扱い。

■チケット発売日 さくらびあ倶楽部会員/8月22日(日)
一般/8月29日(日) 広響事務局/8月30日(月)

プレイガイド/ウッドワンさくらびあ事務局、ローソンチケット(Lコード62156)
チケットぴあ(Pコード199-339)、広響事務局

●さくらびあ倶楽部会員/500円引(ポイント対象外。オンラインチケットの取扱いはありません。)
●広響会員/1割引(ウッドワンさくらびあ事務局、広響事務局のみ。当日の割引はありません。)
●ちゅーピーくらぶ/1割引(ウッドワンさくらびあ事務局、広響事務局のみ。当日の割引はありません。)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。
※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、入場制限する場合があります。



お問い合わせ/ウッドワンさくらびあ事務局 ☎0829-20-0111、広響事務局 ☎082-532-3080

アクセス/広島宮島線「廿日市市役所前」駅から徒歩7分、JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約15分 ※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。



「新り、

広島交響楽団



第24回廿日市定期演奏会

疾風のブラームス～音の大海への旅立ち

様々なオーケストラの重要なポストを歴任する小泉和裕。

恩師カラヤンが得意とした作品に寄せる一方ならぬ想いを込めてタクトをとります。

ブラームスが着想から21年の歳月を費やし、ベートーヴェン後の交響曲の歴史を切り開いたともいえる第1番。

日本を代表するピアニストのひとりとして多彩に活躍する伊藤恵は20代のブラームスが

その迸るパトスを凝縮させた大作ピアノ協奏曲を絢爛に響かせます。

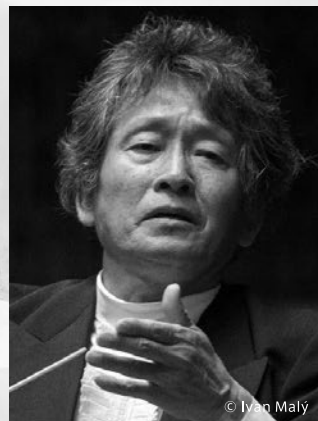
指揮／小泉和裕 Conductor: Kazuhiro Koizumi

京都生まれ。69年東京藝術大学指揮科に入学、山田一雄氏に師事。70年第2回民音指揮者コンクール第1位受賞。

73年第3回カラヤン国際指揮者コンクールに第1位入賞、その後ベルリン・フィルを指揮してベルリン・デビュー。ベルリン・フィル定期やフランス国立放送管を指揮しルービンシュタイン、ロストロポーヴィチと共演、ザルツブルク音楽祭でウィーン・フィルを指揮、その後もミュンヘン・フィル、バイエルン放送響等、ヨーロッパ各地において精力的な指揮活動を行った。ロンドンのロイヤル・フィルには定期的に招かれ、数々の名演を残すとともにチャイコフスキーの交響曲第4、5、6番のディスクを完成させた。アメリカにおいても、ラヴィニア音楽祭でシカゴ交響楽団を指揮し大成功を収めた後、シカゴ響定期公演に登場し注目を集めた。その他、ボストン響、デトロイト響、シンシナティ響、トロント響、モントリオール響などにも客演。

これまでに新日本フィル音楽監督、カナダ・ウィニペグ響音楽監督、都響指揮者、九響首席指揮者、大阪センチュリー響首席客演指揮者、都響首席指揮者、都響首席客演指揮者、大阪センチュリー響首席指揮者、都響レジデント・コンダクター、日本センチュリー響音楽監督、仙台フィル首席客演指揮者等を歴任。

現在、都響終身名誉指揮者、九響音楽監督、名古屋フィル音楽監督、神奈川フィル特別客演指揮者。



© Ivan Maly

ピアノ／伊藤 恵 Piano: Kei Itoh

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ライグラフ氏に師事。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ部門で日本人として初優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響（現hr響）、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演などに出演。日本ではN響との共演、各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍。CDの代表作は、シューマン・ピアノ曲全曲録音「シューマニアナ1～13」。2007年秋には全集完成記念コンサートを行った。さらに、2008年にリリースを開始した「シューベルト ピアノ作品集1～6」は1作ごとに注目を集め、第6集は2015年度レコード・アカデミー賞、第70回文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。最新盤は「ベートーヴェン ピアノ作品集2」（フォンテック）。

また、サイトウ・キネン・フェスティバル松本はじめ武生国際音楽祭、軽井沢音楽祭、リゾナーレ音楽祭、東京・春・音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどに参加。1999年から2006年までの8年シリーズではシューマンを、2008年からの新たな8年シリーズではシューベルトを中心としたリサイタルを開催。2018年からは、ベートーヴェンを中心としたリサイタルを開始。1993年日本ショパン協会賞、1994年横浜市文化奨励賞受賞。2018年ジュネーヴ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。



© Shumpei Ohsugi

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace～音楽で平和を～」をテーマに活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽によるメッセージを発信している。

「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞。 公式ホームページ<http://hirokyo.or.jp/>

